

もっと知りたい、健康のこと。

静岡赤十字病院広報誌

2019年・夏号

vol.352

季刊発行

日赤 News



しずおか日赤
訪問看護ステーション

information

「糖尿病教室」のお知らせ
「腎臓病教室」のお知らせ
「赤十字講習会」のお知らせ



【特集】

狭心症、心筋梗塞から命を救う

「虚血性心疾患」の 最新治療

ほっとニュース

「すずらんのしおり」贈呈式


しずおかクロス NAVI

病院機能評価

3rdG:ver.2.0の認定を受けました

地域の皆さんともっとクロス！
令和元年7月20日(土)開催
第8回しずおか日赤まつり

写真は当院で働くスタッフが毎月出ます。


 注目の
トピックス

今号のテーマ: 冠動脈心疾患

狭心症、心筋梗塞から命を救う 「虚血性心疾患」の 最新治療

今年度より当院循環器内科部長に着任した小山田医師は冠動脈心疾患治療のスペシャリスト。「心筋梗塞」や、その予備軍というべき「狭心症」の最新治療についてお話を伺います。

 教えて
ドクター
Q & A

 循環器内科 部長
小山田 和弘 医師

穏やかな表情と語り口が印象的な小山田先生。平日は横浜から静岡まで新幹線で往復する多忙な毎日だけに、週末は家族と過ごす時間を大事にされているそう。東京都出身。

Q 「狭心症」「心筋梗塞」ではどんな症状が現れる?

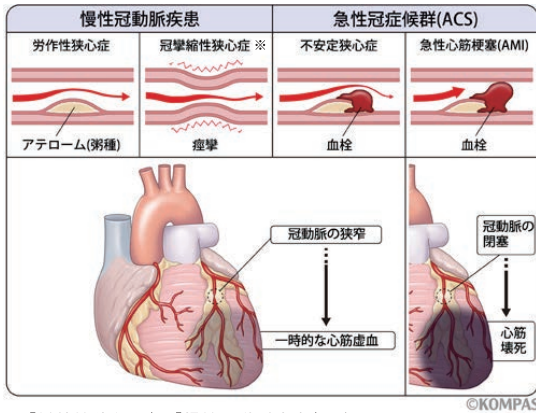
A 狭心症は、胸にギュッとつかまれるような強い圧迫感を感じるのが特徴。人によっては肩や首、あごなどに放散痛を感じることもあります。痛みが続くのは数分から10分程度、しばらく休むことで痛みは治まります。労作性狭心症では運動の後に起こるため、「運動で息が上がっただけ」と勘違いすることもあるのですが、狭心症はやがて心筋梗塞に移行する可能性のある状態。頻繁に起こるようであれば一度受診することをお勧めします。一方、心筋梗塞の痛みは狭心症のそれとは全く違うもので、冷や汗をかいて苦しむような激痛が治まることなく続きます。治療には一分一秒を争いますから、「おかしい」と思ったら迷うことなく救急車を呼んでください。

Q 虚血性心疾患の予防には どんなことに気をつければいい?

A 虚血性心疾患の原因となるのは動脈硬化。動脈硬化は加齢とともに進む老化現象で、完全に止めることはできないのですが、その進行を緩やかにすることは可能です。まずは禁煙、そして動脈硬化の危険因子となる高脂血症や高血圧、糖尿病、肥満など持病がある人はきちんと治療すること。そして適度な運動、睡眠、バランスのとれた食事、ストレス解消など、規則正しい生活を心がけてください。



図1)



※「攣縮性狭心症」は「慢性冠動脈疾患」に含まれますが、これは動脈硬化が関与しない特殊なタイプになります。

虚血性心疾患とは、心臓に酸素や栄養を送る血管(冠動脈)の動脈硬化が進んで血液の流れが悪くなり、心臓に必要な酸素の需給バランスが崩れることで、心筋の一部が酸素不足になる病気の総称です。生命予後にかかわる重大な病気で、タイプとしては慢性冠動脈疾患である労作性狭心症と、急性冠症候群とに分けられます(図1)。

生命予後に大きく関わる「虚血性心疾患」という病

図2)

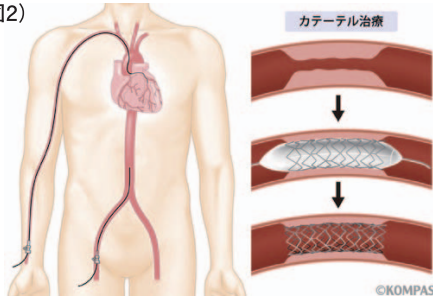
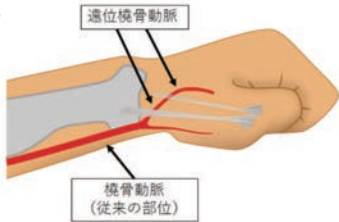


図3)



一方危険度が高いのは急性冠症候群。動脈硬化に加えて血管内に血栓が生じている状態で、血栓により冠動脈が突然詰まる「急性心筋梗塞」と、その前段階として数日から数週間うちに心筋梗塞に進展する危険のある「不安定狭心症」が含まれます。

低侵襲に進化した最新カテーテル治療に注目

虚血性心疾患の治療方法には大きく分けて、①薬物治療および生活習慣改善、②経皮的冠動脈インターベンション(PCI)、③冠動脈バイパス手術(CABG)の3つがあります。まずは治療の基本として、適切な薬物投与とともに禁煙や食事療法、運動療法などを行い、その上で各患者さんの症状に合わせて、冠動脈の血流を回復

近では、より低侵襲な方法として親指近くの動脈からカテーテルを進める方法(図3)を採用することも。当院においても、これまで培った経験と技術を活かし、質の高い診療を目指したいと考えています。

するための治療としてPCIやCABGを選択します。私の専門でもあるPCIは、鼠蹊部や腕などの血管からカテーテルを差し込み、冠動脈の狭くなった部分を治療する方法(図2)で、体に大きな傷をつけることなく、局所麻酔によって治療を行えるのがメリットです。カテーテルの先端につけたバルーンを内側から膨らませて血管を押し広げ、最後にステントという網目状の金属管を血管の中で広げ留置して仕上げる方法が一般的です。

従来PCIは鼠蹊部からカテーテルを進めることが多かったのですが、患者さんの負担を軽減させるために提唱されたのが、手首からカテーテルを進める方法。日本では1995年に湘南鎌倉総合病院の齋藤滋先生が始めた方法です。私は2000年に同先生に師事、前任の病院ではPCIの立ち上げを行なっています。さらに最

▶ INFORMATION

地域の皆さんとまっすぐクロス!

令和元年7月20日(土)開催
第8回しずおか日赤まつり

キッズ体験コーナーや、健康に関するコーナー、コンサートなど、お子様から大人の方まで楽しめるイベントです。ぜひお越しください。詳しい内容は、院内ポスター、ホームページでご確認ください。



表紙を飾った静岡赤十字病院スタッフ

(左から) 小長谷直人さん(事務員) 松永真理子さん(看護師)
佐藤紀子さん(看護師) 石神泉さん(所長)
細川真理子さん(看護係長) 望月静さん(看護師)



かかりつけ医と連携して、日常的な看護ケアから医療的処置、リハビリ支援、介護支援などを行う訪問看護師。当院では今年4月に「しずおか日赤 訪問看護ステーション」を両替町にオープン、現在5名の訪問看護師が活躍しています。いずれも当院病棟にて10年以上のキャリアを持つ頼れるナースばかり。「患者さんにとってより身近に頼れる存在になれたら」という願いと自信が、明るく笑顔に弾けます。



ANAグループより、心を込めた
メッセージ付きのしおりをいただきました

「すずらんのしおり」贈呈式

去る5月29日(水)、ANAグループ(全日本空輸株式会社)から当院に入院されている患者さんへ、一枚一枚に手書きのメッセージが添えられた「すずらんのしおり」約330枚が贈呈されました。ANAグループによるこの活動は、昭和31年から続いているもので、今年も全国各地51カ所の赤十字病院と関連施設において実施。当院では、富士山静岡空港が開港した2009年に始まり、今年で11回目を迎えました。

贈呈式では、静岡県出身の客室乗務員・芹澤紗英さんから入院患者さんへ、直接しおりが手渡されました。このしおりはイラスト部分をこすると、すずらんの爽やかな香りが出るというユニークなもの。しおりを受け取った患者さんからは笑顔



がこぼれ、早速その香りを楽しまれました。花言葉は「再び幸せが訪れる」。すずらんのしおりが、皆様の回復への励みになりますように!



すずらんが
優しく香りますよ

INFORMATION インフォメーション

「糖尿病教室」のお知らせ 15:00~

糖尿病について(糖尿病専門医・村上医師)… 7/5(金) 8/2(金) 9/4(金)*
やむを得ない都合等により中止となる場合がありますのでご了承ください(電話でお問い合わせください)
*9/4のみ、15:10からの開催となります。

検査・運動について(臨床検査技師・理学療法士)… 7/12(金) 8/9(金) 9/13(金)

食事・薬について(管理栄養士・薬剤師)… 7/19(金) 8/16(金) 9/20(金)

網膜症・日常生活について(視能訓練士・看護師)… 7/26(金) 8/23(金) 9/27(金)

糖尿病教室食事会 11:30~ … 7/17(水) 8/21(水) 9/18(水)

申し込み・お問い合わせは、2号館栄養課まで
TEL.054-254-4311(代) / 内線3103 当院に受診されている方が対象となります。

「腎臓病教室」のお知らせ 15:00~

腎臓病のデータの見方について … 7/23(火)

場所:2号館4階 第1会議室
これから病気が気になる方もご家族の健康に不安をお持ちの方もどなたでも無料で受講できます。直接会場へお越しください。

「赤十字講習会」のお知らせ

健康生活支援講習 支援員養成講習

… 8/10(土) 8/11(日) 8/12(月・休) 10:00~15:00
10/8(火) 10/9(水) 10/10(木) 10:00~15:00

健康に年を重ねていくための知識や高齢者への理解を深め、家族や地域の人々に対する自立支援を学びます。

地域で支える認知症講習… 10/12(土) 10:30~12:00

認知症について正しく理解し、認知症の人々やその家族が安心して暮らせる地域づくりを目指しましょう。

災害時高齢者生活支援講習… 9/3(火) 13:30~15:30

被災した高齢者の避難所生活を支援するための知識や技術を学びます。

日本赤十字社静岡県支部ホームページからお申し込みください。

暮らしに役立つ情報をおとどけ

しずおかクロス NAVI



病院機能評価

3rdG: ver.2.0の認定を受けました

当院は平成30年12月19・20日、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施している病院機能評価(3rdG: ver.2.0)を受審、平成31年4月5日付で認定されました。

病院機能評価とは、患者さんが安心して安全な医療を受けることができるよう、医療の質の向上・維持・改善を支援する仕組みです。

当院は平成23~28年の改築工事等による中断を経て10年ぶりの受審となりましたが、改善要望事項もなく、無事認定を受けました。今後もより良い医療を提供できるよう、職員一丸となって、日々努力してまいります。